

市民経済委員会議会報告会報告書

報告日:

平成28年9月13日

出席者	参加者	42人	
	議会側	石原委員長、岡田副委員長、坪井委員、奥谷委員、杉原委員、乗越委員、小川委員	
開催日時		平成28年7月14日(木) 19:00~20:40	
開催場所		安芸津生涯学習センター	
実施内容報告	テーマ	(1) 平成28年度一般会計予算 (2) 東広島市廃棄物の処理、清掃に関する条例の一部改正	
	概要	<p>★ 消費者被害の未然防止 迷惑電話防止装置「トビラフォン」設置事業についての説明。市内在住65歳以上の方のみの世帯等H28年6月1日より申し込みを受け付け、H29年3月31日まで先着順100名のモニターに設置予定。</p> <p>★ 6次化ネットワーク活動交付金についての説明。今回の事業対象者は、既に本年3月に認定を受けており、市内の大葉生産農家が、生産の拡大や新たな加工品の製造を行うため、ビニールハウス等の生産設備や6次産業化商品製造に伴う加工機械の整備に要する費用を助成。6次産業化ネットワーク活動交付金は、農山漁村の所得や雇用の増大を図るため、地域の創意工夫を生かしながら、多様な事業者がネットワークを構築して取り組む新商品開発や販路開拓、農林水産物の加工・販売施設の整備等の取り組みの事業の一部を助成するもの。</p> <p>★ 東広島市廃棄物の処理・清掃に関する条例の一部改正の説明。内容は、家庭系一般廃棄物の処理に関し、新たに徴収する手数料を定めようとするもの。</p>	
	議会報告	<p>【質】 トビラフォンの2万件の登録番号の内容を伺う。太陽光発電類は入ってるか。 【答】 警察や自治体が把握する犯罪に使われた電話やシステムを開発した会社が把握している迷惑電話、また全国のユーザーが拒否した登録電話から得られた番号等々で約2万件。</p> <p>【質】 現在の申し込み人数は 【答】 7月13日現在で、13軒。</p> <p>【質】 例えば65歳3名が一緒に住んでいるところも申し込めるのか。 【答】 大丈夫</p> <p>【質】 今後の取り組みを聞く。 【答】 次年度以降も市としては積極的に対応をしていきたいという考えを持っている</p> <p>【質】 ごみの減量化について、道路の草の刈り取り作業を今迄通りやっていたらいいのか 【答】 積極的にお願いします。</p> <p>【質】 トビラフォンのモニター募集は来年も行うのか。 【答】 今のところ予定はない。月に450円の契約で継続。</p> <p>【質】 トビラフォンについて、安芸津にはNTT回線と光回線と両方入ってるがどちらでもつけられるのか 【答】 回線に関係なくナンバーディスプレイや電話番号が入る電話でないと取りつけられない。</p>	

テーマ：地方創生について

第二次安倍政権が地方の人口減少問題を主要課題として認識し、まち・ひと・しごと創生本部を立ち上げ、内閣改造で地方創生担当大臣を設置し本格的にスタートした重要政策で、東広島市においても、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、次の5つの基本目標を設定した。

- ①成長エンジン東広島の実現
- ②未来の東広島人の発掘
- ③東広島市の学園都市力の発揮
- ④子育てするなら東広島の実現
- ⑤安心・快適な東広島の創出

以上の項目の実現のため、PDCAサイクルを確定させ、今後5年間の計画期間により事業を推進していく。（当該事業に附随する市の予算額も併せて説明）

【相手方意見】

1 安芸津町は合併以前、1万3000人ほどの人口がいたが、今は1万人を切るほどだ。働き場所がなければ人は移る、親が移れば子供も減るという状況で、西条ばかりでなく住みよい安芸津に働き場所をとという目を向けてもらいたい。

2 木谷保育所の延長保育についてのお願いです。この地域は子供の人数が少ないながら、小学校も含めて素晴らしい教育をしている。地域環境を活かして知徳体においても優れたことをしているので、少人数だと片付けず他の保育所並みにお願いしたい。

3 東広島市の教育は全国的に見ても優秀であると聞いているが、進められている適正配置についての意見です。学校の統廃合の話のある中で、木谷小学校は小規模特認校となり、保護者の思いも含めて来られた子供さんが自然へのかかわりを非常に喜んでおられる実例があるが、これが何年かすれば統廃合となる予定だ。地方創生で定住対策と言いながら、現実は逆のように思うが意見を聞きたい。

4 ごみ袋の有料化だが、上げ幅が大きすぎると思う。市全体でみれば県内でワースト4位かもしれないが実感がない。地域ごとの数値があれば自治会にも説明できるが、段階的な値上げは検討されなかったのか。隣接する竹原市も順位は悪いようだが値上がりはないし、近いので、どうしても比較してしまう。

【議会側意見】

1 安芸津の人口減少は、働く場所がないことが要因であるのは間違いのない事実であり、若い世代が安芸津で生活できる環境を地域の皆さんと相談しながら構築していく必要があると考えている。色んな切り口があると思うが、安芸津ならではの街づくりの方向性を一緒に考えていきたい。

2 保育所によって時間延長が出来る出来ないの理論はないと思う。早急に持ち帰り、状況把握からスタートして話を前に進めたい。

3 コミュニティの中心となる学校の統廃合は地域にとって大きな問題である。子供たちにとって、どういった教育環境が望ましいのか、人数の大小を含めて適正配置を人数だけで先行せず、地域の実情に応じた施策が必要であると考えている。今後の議会活動に反映させたい。

4 市内の地域別データについては確認をしていないが、市としても把握していないのではないか。

ごみ袋の4倍という値上げについては、前半の部でも説明をしたが、色々な手法の中で、市民の意識をより高めてもらうための決断である。リサイクルの意識も含め、目的である減量化も、重さで考えれば、水分を乾燥させるなどの工夫により袋の数も軽減できて、値上げ分を取り戻せるという実質的な考え方もあることを理解していただきたい。

燃やせるごみと資源ごみの袋の値上げ幅が違うのも、分別に対する意識づけであるので、我々一人一人の意識と工夫を持って取り組むべき問題であると考えている。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施内容報告</p>	<p>要望・提言等</p>	<p>【相手方から】 蚊無の隧道の一番高い山のところに、建設残土を埋める工事が行われようとしている。市役所とすれば問題のない企画書が提出されれば中止させることはできないと言うが、近隣の人と言うには建設残土だけでなく産業廃棄物も捨てられているとのことだ。企画書に問題はなくても現地に問題があるので業者の取り消しでも何でも、何とかしてくれと市役所（建設）に言っても、色々言って逃げるだけだ。この度の工期の延期の際に、業者に対して地元住民への説明会をするよう市役所が条件を出したようだが、住民が納得しなくても説明会を開きさえすればいいようなことのようなので、案内が来ても無視をしている状態である。 このような事案が起こった場合に地元の住民として、どう対処すればいいのか。今日は建設委員会じゃないが検討をお願いしたい。</p> <p>【議会側から】 我々が調べるといっても行政の側の話しか聞けないが、この埋立に関する許可は県からの権限委譲事務で、法的に許可基準はあるものの、具体的には曖昧なようである。この話を持ち帰り、議会として出来ることかどうかも、この場では明言できないが、今日いただいた話は早急に担当課に伝えることとしたい。</p>
	<p>その他 特記事項</p>	